地域ケア推進会議

鹿児島市地域包括支援センター　谷山南

【計画】　　作成担当者：　　平山　真也

開催日時		平成30年07月24日　14:00 ～ 15:30	開催場所	福平福祉館
参加者		民生委員：2人、社会福祉協議会：1人、居宅介護支援事業所：2人、障害者施設：1人、町内会：1人、保健センター：1人、自主グループ：1人、地域包括支援センター：9人、地域包括支援センター職員		
		総数　　18 人		
内容	テーマ	前年度の実務者会議の振り返りと錦江台地区を中心に圏域の課題を抽出する。		
	目的	個別課題の解決、地域包括支援ネットワーク構築、地域課題の発見、地域づくり・資源開発		
	概要	①第1回介護予防・生活支援サービス事業者協議会（市域版）報告 ・生活支援コーディネーターより活動報告、介護予防・生活支援サービス従事者研修会について説明。 ②錦江台地区における移動販店舗のマッチング ・錦江台地区を選定した理由、マッチングに至った経緯を説明。 ・錦江台地区の要支援者の現状をグラフと谷山南圏域の人口と65歳以上の割合の資料を活用して説明。 ③不足している地域資源・課題について ・３グループに分けて、事前に用意した検討テーマに沿って意見交換を行う。		

【結果】

開催日時		平成30年07月24日　14:00 ～ 15:30	開催場所	福平福祉館
参加者		民生委員：2人、社会福祉協議会：1人、居宅介護支援事業所：2人、障害者施設：1人、町内会：1人、保健センター：1人、自主グループ：1人、地域包括支援センター：9人、地域包括支援センター職員		
		総数　　18 人		
内容		〈検討内容〉 ①第1回介護予防・生活支援サービス事業者協議会（市域版）報告 生活支援コーディネーターより活動報告、介護予防・生活支援サービス従事者研修会について説明。 ②錦江台地区における移動販店舗のマッチング 錦江台地区を選定した理由、マッチングに至った経緯を説明。 錦江台地区の要支援者の現状をグラフと谷山南圏域の人口と65歳以上の割合の資料を活用して説明。 ③不足している地域資源・課題について ３グループに分けて、事前に用意した検討テーマに沿って意見交換を行う。 〈成果〉 ①生活支援コーディネーターより活動報告を行ったことで、今後の地域での支えあいや支援の在り方、介護保険サービスに頼らない地域での対応の必要性を再確認できた。 ②実際に写真等で移動店舗の利用状況や経緯を説明することで、参加者全員がイメージすることが出来、移動店舗の重要性を周知することが出来た。 ③グループワークを通してそれぞれの視点から移動店舗を定着させる方法、導入する上での課題などを抽出したことで、参加者全員から移動店舗の必要性について理解が得られた。		
今後の課題など		①移動店舗については、広報や提供する場所など課題が多いため、地域の民生委員や町内会等と連携し、移動店舗についての周知を図っていく。 ②移動店舗が地域の社会資源として定着するように、移動店舗側のサービス提供の進捗などを随時確認し、改善を図っていく。 ③第２回の地域ケア推進会議は和田地区の地域課題に焦点を当てる予定。地域課題の分析を行いアプローチしていく。		